

サンパウロ大学への協定校留学 月例報告書（5月分）

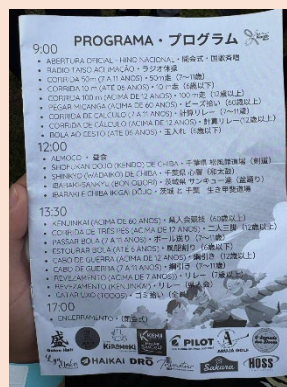
あっという間に5月も過ぎ去っていき、この月例報告書を書くのも残り2回になっていることから、帰国が迫ってきていることを実感し始めました。サンパウロは、夏が終わり冷え込む日も増えてきて、現在は毛布なしでは寝られないほどに寒いです。雨や曇りの日も多くなかなか元気が出ない日もありますが、残りの留学生生活を充実させるためにも、後悔のない毎日にするのを心がけていて、一日一日がとても大事なことを感じています。

今月は、運動会がサンパウロの日系コミュニティの各地で開催されたり、母の日があったりして、イベント盛りだくさんでした。また、初めてこっちで病院に行ったので、大変だったことや、知っておくいいことを共有して、これから USP に留学する学生さんに有益な情報をお伝えしたいと思います。

運動会

今月は、cooper と呼ばれるスポーツセンター主催の運動会に競技者として、関東地区が集まって行った運動会にボランティアとして参加しました。

日本の運動会と同じで開式の言葉から始まり、みんなでラジオ体操をした後から、各競技が始まります。年齢や性別で参加できるものが分かれていて、私は可能なものすべてに参加しました。ボランティアとして参加した運動会でも競技に参加でき、多くの人との仲を深めることができました。また関東地区の方では、味の素の餃子の販売も手伝いました。



一緒に住んでいる
ばあちゃんへのカード

母の日

ブラジルの母の日も、日本と同じ5月の第二日曜日で、重要な行事の一つです。家族で集まって特別な食事でもの日を祝い、プレゼントを渡したり、実家が遠い人は花を送ったりして、感謝を示していました。日本よりもこの日が重要視されている印象があり、なぜか聞いてみると、ブラジルの家族を大切にする文化であることと、シングルマザーが多いためだそうです。もちろん父の日も同じくらいお祝いする家庭もあります。

本当にブラジルに来てから家族に対する価値観が変わり、日本に戻ってからも家族への愛を伝え続けることを忘れないようにしようと強く思いました。



ブラジルの病院について（サンパウロ州）

今回、初めて予防ワクチン接種以外の用件でブラジルの病院を訪れ、想像以上に診察に通るまでが大変だと感じたので、内容を共有したいと思います。

まず、USP の留学生という資格である私が受診できる候補は、

- ・大学の中にある公立病院の HU（Hospital Universitário de Universidade de São Paulo）

USP の学生や教授、従業員だけでなく、外部の住民にも開かれている、誰もがアクセスできる病院で、診察の予約には、HU のカードが必要です。しかし、1 年間の学部留学生はカードを作ることができないので、救急以外の受診は不可能です。

- ・外にある公立病院の UBS（Unidades Básicas de Saúde）

ブラジルに住んでいるすべての人がアクセスできます。各地区に点々と存在していて、住所によって利用できる診療所が異なります。私の住んでいる地域の UBS は少し危険な場所であり、大学の近くの安全な UBS に通いたかったので、危険だという理由を説明して私の UBS の登録を移動させてもらえないか聞いてみましたが、1 本道を挟んでいて、管轄外であることから、移動はできないと言われてしまいました。他の学生に聞いてみたところ、全く別の地域で診察させてもらえている場合もあるということなので、また試してみます。

以上の 2 つです。

ブラジルの公立病院は診察料も、治療費も無料なので、私立病院に通うよりも金銭面的には良いですが、多くの人が利用するため、常に混んでいて診察の予約が 1 か月後になることは普通です。そのため定期健診やワクチンは、UBS で予約を待つことができますが、緊急を要する場合には、HU の救急（urgência）を受診することをお勧めします。私は友達に、「救急は死ぬ直前くらいに病状でないと診てもらえない」と伝えられていたので、行きませんでした。が、痛みに耐えられなくなってきたので、救急の入り口で事情を伝えたところ、無事に入れてもらうことができました。この救急では、身分証明書（CRNM）さえあれば受診できるので、素早く簡単に診てもらえます。驚いたのは、スタッフや医者などすべての人々の対応が非常に良かったことで、ポルトガル語で分からないことがあると、時間をかけて何回も繰り返して伝えてくれました。

HU での診察が終わり、処方箋が出されたので薬を取りに行きました。薬局で買うこともできますが、UBS の薬局に行く和在庫がある場合には、無料で薬を受け取ることができます。ただし、HU から少し離れたところに位置していて、バスに乗っていかなければいけないため、面倒です。

ブラジルで病院を受診する際には、1 月分の月例報告書にも記載した SUS（Sistema Único de Saúde）のカードが必要になるので、留学に来て落ち着いたら、時間があるときに作成しに行くことをお勧めします。どこの UBS でも作成でき、手間はそれほどかからないので、心配することはありません。

今月は、まだストライキが続いているため、授業がありませんでした。その分、友達や家族と一緒に過ごす時間が増えていて、さらに仲が深まっていっています。帰国のことを考えると悲しくなりますが、現在は、今を楽しむこと、充実させることに集中して、残りの時間を全力で過ごしたいと思います。来月分が最後の月例報告書になることが信じられませんが、何事もなく穏やかな毎日が送れることを祈っています。